

北海道国鉄電化の 開拓者を 後世に残そう

クラウドファンディング

— ED76展示施設整備応援プロジェクト —

2024年

鉄道関係グッズの返礼品あります

7/22 月 ~ 10/21 月

目標金額

3,000
万円

●ED76とは

北海道鉄道の発祥地である小樽は国鉄電化の出発地でもあります。ED76は道内最初の電化用に量産された電気機関車で、蒸気の時代から新しい時代へつなぐ架け橋となった車両です。

●ED76の解体

ED76の機器に有害物質の残存が発見され、残念ながら除去作業のため解体をせざるを得ませんでした。「少しでも車体をのこしたい」という願いの中、前頭部の保存が実現可能になりました。

●これから

小樽市総合博物館は、現在の北海道の生活につながる鉄道史を伝える場として活動しています。ED76を「実物×原寸×全体」をコンセプトに新しい展示を製作していきます。



電気機関車ED76 509の部分展示再開に向けて

寄付を募っています。 ご支援・ご協力をお願いします。

← 詳細は、博物館特設サイトへ

<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2024060900016/>



小樽市総合博物館

TEL 0134-33-2523

ED76形式(ED76 500番台) 交流電気機関車

北海道初の国鉄電化区間は1968(昭和43)年の小樽～滝川間でした。この時に北海道向けに耐寒・耐雪設備を施した電気機関車ED76形500番台が投入されました。ED76 509はこの形式の9番目に製造された車両です。

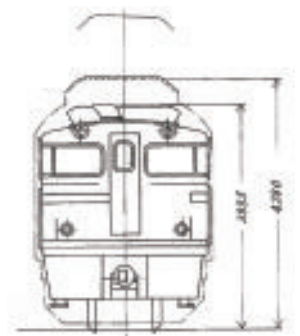
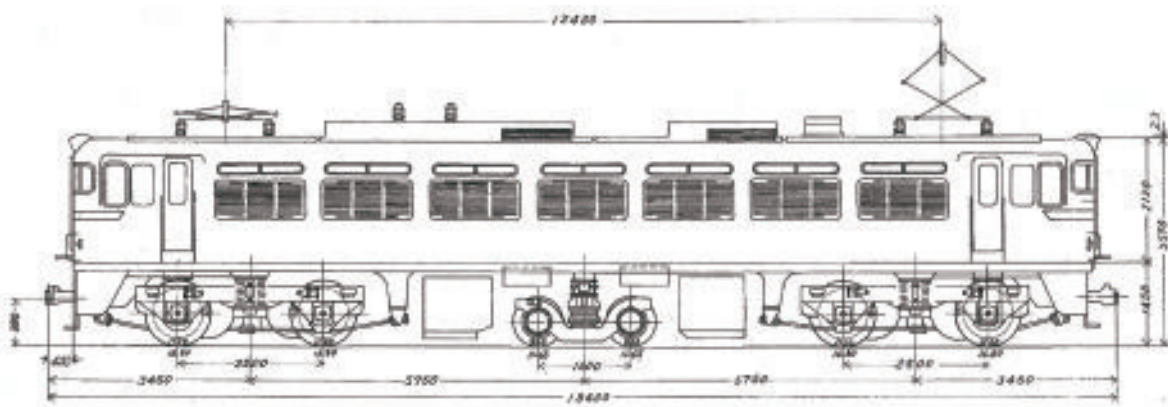
同形式は全部で22両製造され客車・貨物列車をけん引しましたが、電車や気動車に入れ替わり次々と廃車・解体となりました。現存しているのは2両のみで、電化の歴史を伝える貴重な遺産として後世に遺していかなければなりません。



小樽築港機関区に3両並ぶ ED76 【撮影:小松原一高】



小樽花園橋から見た並行する手宮線(右)と函館本線(左)を走る ED76
【小樽市総合博物館兵庫コレクション】



ED76展示施設整備 応援プロジェクト

返礼品

有害物質の除去のため解体されることになりましたが、道内鉄道史において貴重な車両の保存の可能性を探り部分的に残すことが可能となりました。

前頭部、動輪、パンダグラフなどの残された歴史遺産を小樽市総合博物館で施設整備を実施し保存展示することが決まりました。皆様のご協力をお願いいたします。



寄付額:20,000円

Aセット

本『写真で見る小樽、鉄道の歴史』
クリアファイル
(蒸気機関車、アイアンホース号)

Bセット

本『鉄道と小樽』
ポストカード
(小樽市総合博物館展示除雪車)

Cセット

トートバック(電気機関車)
クリアファイル(電気機関車)

Dセット

手ぬぐい(電気機関車)
駅プレマグネット(おたる、てみや)

Eセット

クリアファイル
(電気機関車、蒸気機関車、アイアンホース)
駅プレマグネット(おたる、てみや)

寄付額:30,000円

Fセット

Tシャツ(アイアンホース号)
本『アイアンホース号ガイドブック』

その他

(A+B)セット	33,000円
(C+D)セット	33,000円
(E+F)セット	43,000円
(A+B+C+D)セット	60,000円

